

James Molloy - MIRA Newsletter #34

JIMのみしまものがたり③4

三島ならではのもの

どのような要素が、「そのまちならではの」を作り上げているのでしょうか？

特産品を使った美味しい料理、歴史や建造物、風景や地域の文化などが融合したものではないかと、私は考えています。

世界中どんなまちにもその土地やそこに住む人々の文化を象徴するような特別な場所があるもので、私にとっては幼少期を過ごしたカナダのニューファンドランドの歴史ある東海岸の自然歩道が、それにあたります。

港の周りに点在する風光明媚な小さな村々をつなぐ自動車道ができるずっと以前から、北大西洋の険しい海岸線を横切るこの「歩道」は、友人や親戚、商人、医者、聖職者たちとつながる唯一の手段でした。

三島の魅力は何でしょう？

その存在なくしては語れないような、三島になくてはならないものとは？

まず始めは三嶋大社。ふわふわとした美味しいウナギに、源兵衛川をはじめまちを流れる富士山の雪解け水。それにしゃぎりや農兵節、地元が誇る箱根西

麓三島野菜、個性的なレストランやカフェ、唯一無二の楽寿園など…

私は楽寿園の年間パスポートを購入して以来、頻繁に園内を散策するようになりました。そこで、今まで見過ごしてきたものに気づき始めたのです。

楽寿園のレトロな乗り物やかわいい動物たちは有名ですが、さまざまな色や質感の木が200種あまりあることをご存知でしたか？これらの木々には色鮮やかで可愛くさえずる鳥が巣を作ったり、渡り鳥たちが立ち寄りたりしています。その数合わせて50種以上にもわたるとか。

次回楽寿園を訪れるときは、小浜池の端にたたずむ楽寿館近くの樹齢350年のいこいの松をご覧ください。園内で一番古く、とても美しい木です。



いこいの松

三島の魅力はまだまだ語りつくせませんね。皆さんなら何を思い浮かべますか？

JICA 青年海外協力隊富岡健太さん、市長表敬訪問



富岡さん（右から2人目）

JICA（独立行政法人国際協力機構）の2022年度第3次青年海外協力隊として、中米グアテマラに派遣される三島市在住の富岡健太さんが、1月末の出発を前に1月13日（金）、豊岡武士市長を表敬訪問し、その意気込みを語りました。富岡さんは、ご両親もかつてJICAの派遣隊員で、そのご両親の影響もあってかねてよりJICAで貢献したいと思っており、これまでも国内で環境問題に取り組んでいました。念願叶って2020年にメキシコに派遣が決まりましたが、新型コロナウイルス感染拡大で延期になってしまい、今般、あらためて派遣が決まったということです。グアテマラでは、首都グアテマラシティーから西へ車で4時間ほどのトトニカパン県で、環境天然資源省の県事務所に配属となり、環境教育を担当します。決して良いとはいえない治安のもと、安全には充分気をつけた上で、ご活躍されることを祈ります。

麦畑（編集後記）

- ★今年は風のように軽やかにうごいてみよう！（桜）
- ★Bird watching starts with your ears!（J）
- ★先が見えない時代を乗り越える力がだいぶついたと思う！（青）
- ★春の訪れと共に、平穏な日が世界に來ますように（明）
- ★コロナ5類へ、だからって油断禁物。遠慮近憂（S）

申込み・問合せ

- ★三島市国際交流協会（MIRA）事務局
TEL 976-1020 FAX 976-1021
- ★三島市国際交流室
TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ